**ハンドマイク街頭演説原稿例　　都議選結果・五輪中止**

二〇二一年七月五日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、先日の都議会議員選挙で日本共産党は、現有１８議席を上回る１９議席を獲得し、前進を勝ち取ることができました。ご支援いただいたみなさまには、本当にお世話になりました。今回の都議選では、日本共産党は「五輪より命を大切にする政治を」「五輪は中止し、コロナ対策に全力を」と訴え、都民の期待と共感が日に日に広がりました。野党共闘が実現した選挙区では、野党同士の応援や「市民応援団」など市民と野党の共闘が広がり、大激戦を勝ち抜く大きな力となりました。来るべき総選挙では、国民の声を無視し続ける菅自公政権に厳しい審判を下し、市民と野党の共闘で政権交代を実現しようではありませんか。その一番の力となる日本共産党の躍進へ、みなさまのご支援を引き続きよろしくお願いします。

　みなさん、緊急事態宣言解除による人流の増加により、東京では連日、新規感染者数が増加し、埼玉でもじわじわと増加してます。東京オリンピック・パラリンピックはいのち最優先の立場から中止すべきです。開催間近となり、「いまさら五輪の開催は中止できないのでは？」との声も寄せられます。しかしながら、五輪はあくまでもイベントであり、政治が決断すれば、今からでも中止はできます。日本共産党は、「五輪開催で多少の感染拡大も仕方ない」との立場には絶対にたちません。「五輪よりも命を大切に」、東京五輪を中止するよう最後まで強く求めていきます。すべての自治体が学校を通じた児童生徒の五輪観戦を中止するよう全力をつくします。。

みなさん、五輪を開催すれば、選手や国内外の大会関係者で３９万人が東京中心に活動します。ウガンダ選手の感染判明で明らかなように、選手団や大会関係者への水際対策もあまりに不十分です。五輪ボランティアへのワクチン接種も完了できないなかで、五輪を強行すれば感染拡大のリスクは計り知れません。政府の対策分科会も、感染力の強い変異株の影響が広がれば、一日あたり３０００人に達するとの試算を示しています。。感染爆発で命を落とす人がどんどん増える。こんな最悪の事態は何として避けなければなりません。

いまやるべきは、五輪を中止し、以下の「三つの柱」でコロナ対策をさらに強化することです。第一は、ワクチンの安全・迅速な接種に国が責任を負うことです。ワクチン接種の予約停止が大問題となっていますが、国はワクチン供給の正確な見通しを直ちに示すべきです。第二は、定期的なＰＣＲ検査の実施など大規模検査を文字通り実行し、感染を徹底的に封じ込めることです。第三は、持続化給付金の第二弾など、営業への十分な補償と国民への生活支援を行うことです。医療機関への減収補てんや医療従事者への支援もまったなしです。日本共産党は、国民のいのちと生活を守る政治の実現へ、引き続き全力で頑張ります。日本共産党へのご支援をよろしくお願いします。

　最後に、スクープ連発で広く注目をあつめている「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）